

### 大樹での大気球 実験成果を報告

JAXAの吉田室長

【大樹】開町80周年の記念講演会「大樹町における大気球実験」が1日、町生涯学習センターオークホールで開かれた。宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研本部の吉田哲也大気球実験室長が、同実験の意義や大樹での成果を説明した。写真

JAXAは今年度から、これまで三陸大気球観測所(岩手県大船渡市)で行っていた大気球実験を大樹で開始。8

月23日と9月5日に放球を行い、成功を収めた。

吉田氏は「星や宇宙の生成、進化の研究に当たり、空気による揺らぎなどが邪魔になるため、薄い空気や高い高度で実験を行う必要がある」とし、「空気がない宇宙まで



は行けないが、限りなく宇宙に近い所で実験ができる。コストもロケットなどに比べ安価」と同実験の利点を述べた。

大樹での初年度の実験については「放球された気球を海側へ運ぶジェット気流に恵まれず、苦労したが、放球・追尾・管制、回収のプロセスも確認でき、この施設・設備で運用できることが実証できた」と振り返った。(北雅真)